

新学術創成研究科（修士課程）
大学院第一種奨学金 返還免除申請者 各位

学務部学務課新学術創成研究科係

奨学金返還免除申請手続きについて

1. 申請資格の確認

日本学生支援機構の大学院第一種奨学金（無利子）の貸与を受け、奨学金貸与期間中に“特に優れた業績”を挙げ、今年度において奨学金の貸与が終了または終了見込みの大学院学生。

【新学術創成研究科で“特に優れた業績”として評価される例】

- (1) 研究論文：学会発表（地方大会，全国大会，国際大会）表彰，学術雑誌への投稿
- (2) 発 明：特許または実用新案の出願や登録，関連分野コンテスト等での表彰
- (3) 著書・データベース・その他の著作物：専攻分野に関連した著書，データベースその他の著作物等に対する社会的評価
- (4) 授業科目の成績：優秀な GPA 値

※“特に優れた業績”として評価されるのは、大学院における教育研究活動等に関する業績及び研究分野に関連した学外における教育研究活動等に関する業績です。詳細は、「奨学金返還免除審査に関する資料」に記載の返還免除審査対象項目を確認してください。

※評価対象は、奨学金貸与終了時に在籍している課程で奨学金貸与期間中に挙げた業績です。

学士課程在籍期間中の業績は含みません。また、博士前期課程2年次から奨学金を受給した場合は博士前期課程1年次の業績を含めることはできません。

2. 新学術創成研究科の Web サイトから、「業績優秀者返還免除申請書（様式 1-1）」、「業績一覧表（様式1-2）」をダウンロード。

● 本学WebサイトTOP → 学域・学類・大学院等 → 大学院 → 新学術創成研究科 → 在学生へ
URL：<https://gsinfinity.w3.kanazawa-u.ac.jp/student/>

3. 「業績優秀者返還免除申請書（様式 1-1）」、「業績一覧表（様式1-2）」に必要事項を記入・入力し、「業績一覧表（様式1-2）」の証明資料一式を用意。

- ・新学術創成研究科のWeb サイトに「業績優秀者返還免除申請書（様式1-1）」、「業績一覧表（様式1-2）」の記入例を掲載していますので、記入・入力の際の参考としてください。
- ・Excel様式を利用する際は、様式（行列のサイズや罫線）を崩さないでください。
- ・用紙はA4サイズとし、「様式1-1」は片面印刷、「様式1-2」は両面印刷してください。

【「業績一覧表（様式 1-2）」の証明資料の例】

上記(1)の場合：学会発表，表彰等については，著者名・題目・学会名・発表年月日がわかる部分の写し及び発表概要，賞状の写し等。学術雑誌への掲載，表彰等については，著者名・題名・雑誌名・頁・巻号・受理年月日が分かる部分の写し等及び論文内容の概要，賞状の写し等。投稿中の場合は，投稿中であることを証明するもの。
※上記二重線の箇所が分かるように，蛍光マーカー等でアンダーラインを引いてください。

上記(2)の場合：関連資料及び貢献度等が分かるもの，表彰は賞状の写し等。

上記(3)の場合：関連資料及び評価等が分かるもの，表彰は賞状の写し等。

上記(4)の場合：GPA は資料不要。

4. 下記要領に従い、「**業績優秀者返還免除申請書（様式1-1）**」，「**業績一覧表（様式1-2）**」，証明資料一式を提出。

・提出期間：令和3年1月12日（火）～**2月3日（水）17時（厳守）**

・提出場所：学務部学務課新学術創成研究科係（角間キャンパス本部棟2階）

（注）締切間際に書類を提出すると、書類の訂正・追加等を求められた時に締切日時に間に合わなくなる恐れがあります。申請はできるだけ余裕を持って行ってください。

※参考（申請後の流れ）

申請者について、金沢大学内の会議に諮り、日本学生支援機構へ推薦します。最終的に日本学生支援機構が返還免除者を決定し、結果は7月下旬（予定）に郵送で本人宛に通知されます。